

若者の地方体験交流 募集要項

(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

独自－２： ^{くりはらし}宮城県栗原市 (人口： 77, 649人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 東北新幹線：くりこま高原駅下車 徒歩0分(東京から約2時間30分)
 高速バス：東日本急行 高速バス「仙台、栗原市金成庁舎前線」くりこま高原駅下車徒歩0分
 (仙台から約1時間20分)

(2) 事業実施の目的等

栗原市では、地域資源を活用した「くりはら田園観光都市」の創造に取り組んでいます。本事業では、学生の皆さんと一緒に地域の資源を探したり、体験したりしながら、地域の人々の暮らしを体感する「くりはらツーリズム」のスガタを研究します。
 さらに、グリーン・ツーリズムを始め、ツーリズムに関心の高い市民が学生を受け入れることで、経験や知識を学べる機会とします。

(3) 体験の内容

季節に応じて、体験メニューを設定します。
 ○農作業体験 … 季節に応じて、田んぼ、畑、果樹園等で作業を体験します。
 ○林業体験 … 森林や竹林等での作業を体験します。
 ○地方の暮らし体験 … 地方に伝わる家庭の行事を体験します。
 ○資源調査 … 職員と一緒に地域資源を調査します。
 ○地元若者との交流 … 地元の同年代の若者と交流します。
 ○その他 … 直売所などのお手伝い。

(4) 受入主体

・くりはら研究所(栗原市産業経済部田園観光課)
 ・くりはらツーリズムネットワーク

(5) 受入期間

①8/13～16 ②9/20～23 ③2月 ④3月
 ※すべて3泊4日

(6) 応募上の注意

※費用負担	・現地までの交通費：自己負担 ・参加費：1万円程度(宿泊費、作業費、保険料、食事代等)
①要 件	・地方、田舎に関心のある大学生、大学院生(都市、地方は問いません)
②応募締切り	・①7/22 ②8/19 ③、④未定 ※各回4～8人程度を予定
③宿泊施設	・民泊
④食事形態	・受入先で提供 ※昼食は一部自己負担あり
⑤そ の 他	

(7) 地域担当者から一言

栗原市は、面積800平方キロメートルの約8割が森林、原野、田畑で占められていて、自然が豊かで、田園風景が広がる場所です。2008年6月14日に発生した「岩手・宮城内陸地震」で甚大な被害を受けましたが、現在は復興に向かっていきます。
 広い栗原を一緒に楽しみましょう。

(8) お問い合わせ先

自治体名	栗原市	担当部署	くりはら研究所(産業経済部田園観光課観光企画係)
(ふりがな) 担当者氏名	おおば ひさき 大場 寿樹	TEL :	0228-22-1151(直通)
		FAX :	0228-23-5370
E-mail : kanko@kuriharacity.jp			
URL : http://www.kuriharacity.jp/kuriharacity/contents/work/kankoproject.html			
応募宛先	〒989-5612	宮城県栗原市志波姫新熊谷284番地3(くりこま高原駅内)	